

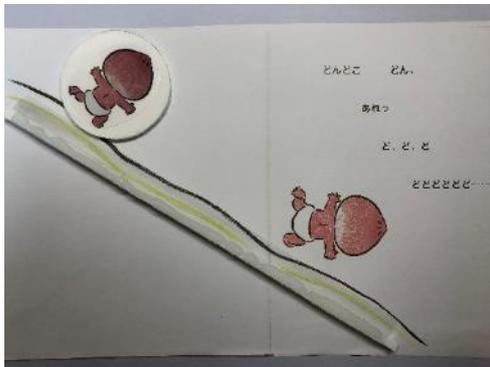
| 教材教具および題材 | 学部 | 授業名（主たる教科領域） | 執筆者 |
|------------------------|----|--------------------------------------|------|
| しかけ絵本 『どんどこ ももんちゃん』 | 小 | グループ学習 低学年 たんぽぽ・すみれ (国語・算数) | 山下貴大 |

<ねらい>

- ・教師とやりとりをしながら絵本の読み聞かせを見聞きする。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・絵本『どんどこ ももんちゃん』（とよたかずひこ作・絵 童心社）を基にして作成した。
- ・絵本の場面ごとに単純なしかけを作り、教師や児童と一緒に操作したりしながら読み聞かせを行った。



○レールの上を転がす



○上に上がっていく



○声かけに合わせてくまを回す



○フェルト、毛糸を触る／なぞる

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・簡単な場面展開や繰り返しの言葉があり、児童もよく見聞きしていた。また、しかけがあることでより気持ちを向ける姿も見られた。
- ・しかけに興味を持ち、好きなしかけの場面になると自分から手を伸ばし操作しようとする姿、もう一度したいという姿や教師のかけ声に合わせてしかけを操作する場面も回を重ねる中で見られるようになった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・材料（厚紙、割りピン、スチレンボード、カラーコピー）